

**製品名:** ASK 1 ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab07219

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	155kDa

## 抗原情報

遺伝子名	MAP3K5 MAP3K5; ASK1; MAPKKK5; MEKK5; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 5;
別名	Apoptosis signal-regulating kinase 1; ASK-1; MAPK/ERK kinase kinase 5; MEK kinase 5; MEKK5
遺伝子 ID	4217.0
SwissProt ID	Q99683
免疫原	抗血清はヒト ASK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 932-981

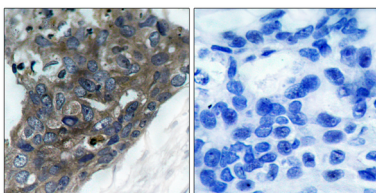
## 背景

マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) シグナル伝達カスケードには、MAPK (細胞外シグナル調節キナーゼ)、MAPK キナーゼ (MKKまたはMEK)、MAPKキナーゼキナーゼ (MAPKKKまたはMEKK) が含まれます。MAPKKキナーゼ/MEKKは、下流のプロテインキナーゼであるMAPKキナーゼ/MEKをリン酸化して活性化し、MAPKを活性化します。これらのシグナル伝達カスケードのキナーゼは高度に保存されており、酵母、ショウジョウバエ、哺乳類細胞に相同遺伝子が存在します。MAPKKK5は、1,374個のアミノ酸を含み、11個のキナーゼサブドメインすべてを有しています。ノーザンブロット解析により、MAPKKK5転写産物はヒトの心臓と脾臓で豊富に発現していることが示されています。MAPKKK5タンパク質は、in vitroでMKK4 (別名SERK1、MAPKK4)をリン酸化して活性化し、COS細胞および293細胞での一過性発現中にc-Jun N末端キナーゼ (JNK)/ストレス活性化プロテインキナーゼ (SAPK)を活性化します。一方、MAPKKK5はMAPK/ERKを活性化しません。[提供:再触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子:マグネシウム。酵素調節:N末端自己阻害ドメインを含みます。Thr-838のリン酸化によって活性化され、Ser-966およびSer-1033のリン酸化によって阻害されます。MAP3K6に結合して安定化し、MAP3K6によってThr-838のリン酸化によって活性化されます。機能:タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードの構成要素。MAP2K4とMAP2K6をリン酸化・活性化し、それぞれJNKとp38 MAPキナーゼを活性化する。過剰発現はアポトーシス細胞死を誘導する。誘導:TNF-αによる。HIV-1 Nefによって阻害される。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。MAPキナーゼキナーゼキナーゼサブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット:不活性時はホモ二量体。多分子複合体において上流の活性化因子と下流の基質の両方に結合する。HIV-1 Nefと会合し、阻害される。DAB2IPおよびPPM1Lと相互作用する。組織特異性:心臓と脾臓で豊富に発現する。]

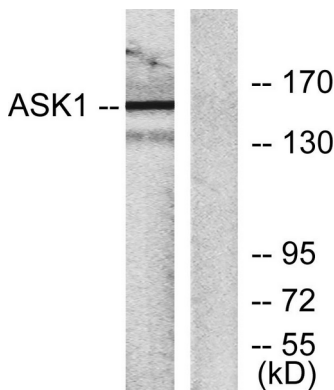
## 研究分野

SAPK\_JNK; アクチンダイナミクスの制御; 細胞増殖; 幹細胞経路; Cell\_Cycle\_G1S; Cell\_Cycle\_G2M\_DNA; MAPK\_ERK\_Growth; MAPK\_G\_Protein; B細胞受容体

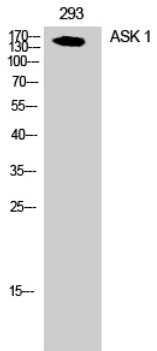
## 画像データ



ASK1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



ASK1抗体を用いたRAW264.7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ASK 1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析